**第14回国立精神・神経医療研究センター脳神経内科短期臨床研修セミナー申込用紙**

後述の説明文をよく読んで記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| ﾌﾘｶﾞﾅ  氏　名 |  |
| 生年月日（年齢） | 西暦 年　　月　　日（ 歳） |
| 住　所 |  |
| 勤 務 先 |  |
| 勤務先住所 |  |
| 勤務先電話番号 |  |
| 連絡先メールアドレス |  |
| 卒業大学/大学卒業年 | / 年3月卒 |
| 1日目センター研究所見学  ※ご希望に添えない場合があることをご了承ください。 | ①神経変性疾患　　②遺伝子疾患と筋疾患  ③免疫疾患　　　　④神経画像  希望の研究所の番号を入れてください。  第1希望　　　　　　　　第2希望  第3希望　　　　　　　　第4希望 |
| 1日目選択実習  ※簡単な説明を後述していますので、ご覧になってから選択してください。ご希望に添えない場合があることをご了承ください。 | ①神経画像　　②臨床研究　　③パーキンソン病の診療手技  ④Device aided therapy; DBSとLCIG(デュオドーパ🄬)  ⑤てんかん・脳波  希望する実習の番号を入れてください。  第1希望　　　　　　第2希望　　　　　　第3希望  第4希望　　　　　　第5希望 |
| 2日目選択実習  ※簡単な説明を後述していますので、ご覧になってから選択してください。ご希望に添えない場合があることをご了承ください。 | ①初学者のための嚥下機能検査　②ボツリヌス毒素治療のコツ  ③神経筋疾患における人工呼吸器療法  ④腰曲がりの評価と治療　　⑤てんかん・脳波  希望する実習の番号を入れてください。  第1希望　　　　　　第2希望　　　　　　第3希望  第4希望　　　　　　第5希望 |
| 電気生理検査実習  ※簡単な説明を後述していますので、ご覧になってから選択してください。ご希望に添えない場合があることをご了承ください。 | ①上級者　②中級者　③初学者  第1希望　　　　　　第2希望　　　　　　第3希望 |
| 電気生理検査習熟度  ※グループ振り分けの参考にします | 習熟度　　　（A-Eで記載してください）  A. 一人で筋電図を実施できる  B. 反復刺激検査やblink reflexが自分でできる  C. 初歩的な神経伝導検査なら自分でできる（伝導速度、CMAP、SNAPを理解している）  D. 神経伝導検査の見学はしたことはあり、原理も理解しているが自分一人ではできない  E. 電気生理検査に関する知識・経験が全くない、あるいはほとんどない初心者である |
| このセミナーをどこで知りましたか | □インターネット　□日本神経学会総会ポスター，チラシ　□知人の紹介□先輩・上司の勧め　□職場のポスター  □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 来年度以降の勤務先 | * 決まっている　□　未定 * 来年度以降，国立精神・神経医療研究センターでの研修も考えている |
| センター内宿泊施設（有料）  ※数が少なく、全員の部屋はありません。希望者多数の場合、NCNPから先生方の勤務施設までの距離の順に利用していただきます。 | * 個室なら希望　□相部屋でもよい　□利用を希望しない |

日程

2018/7/17（火）

8:00－ 8:30　受付（国立精神・神経医療研究センター ユニバーサルホール）に集合

8:45－ 9:00　オリエンテーション

9:00－10:00　神経内科概論、神経遺伝学　60分

　休憩15分

10:15－11:00　認知症（プリオン病含む）45分

　休憩15分

11:15－12:00　ビデオでみる不随意運動　45分

12:00－12:40　昼食　40分

　移動　15分

12:55－13:45　当センター研究所見学　50分

　移動と休憩15分

14:00－14:45　 多発性硬化症と視神経脊髄炎　45分

休憩と移動15分

15:00－15:45　選択実習前半　45分

1. 神経画像
2. 臨床研究
3. パーキンソン病の診療手技
4. Device aided therapy; DBSとLCIG(デュオドーパ🄬)
5. てんかん・脳波

移動と休憩15分

16:00－17:20　病棟見学　4グループに分かれる（2北2南と3北4南の組み合わせ）

　2北→2南　2南→2北

　3北→4南　4南→3北

17:20－17:40　移動とトイレ休憩　20分

17:40－18:30　クリニカルカンファレンス　50分

18:45－　懇親会

2018/7/18（水）

8:30－ 9:15　電気生理講義　45分

9:25－10:15　電気生理実習　50分

　休憩　15分

10:30－11:15　小脳失調症　45分

　休憩　15分

11:30－12:15　パーキンソン病と類縁疾患　45分

　休憩　10分

12:25－12:50　昼食を食べながら レジデントの1週間（当院での研修の紹介）

　休憩　10分

13:00－13:45　筋疾患　45分

　休憩と移動　15分

14:00－14:45　選択実習後半　45分

① 初学者のための嚥下機能検査

② ボツリヌス毒素治療のコツ

1. 神経筋疾患における人工呼吸器療法
2. 腰曲がりの評価と治療
3. てんかん・脳波

移動と休憩　15分

15:00－15:45　神経病理　45分

15:45－16:00　休憩、アンケート

16:00－16:15　修了証書授与

応募について

* 本セミナーは、脳神経内科専門医試験前の若手医師を対象としています。
* 申し込み方法は、申込用紙に記入し、ワード形式にてメールに添付し、[ymukai@ncnp.go.jp](mailto:ymukai@ncnp.go.jp)まで送ってください（[CCで森裕子部長秘書 moriyuko@ncnp.go.jp](mailto:CCで森裕子部長秘書%20moriyuko@ncnp.go.jp) にも送っていただけますと助かります）。3日以内に返事をいたします。もし返事が届かない場合は、当施設のインターネットセキュリティーの干渉で当方へメールが届かない、迷惑メール認定されているなどの可能性があります。電話にてご確認ください（平日日中の代表連絡番号042-341-2711）。
* 定員30　35名程度（参加希望者多数につき定員を増やしました:5/23）、締め切りは6月22日（金）です。短時間に定員を大幅に超える応募があった場合は、抽選を行います。
* 例年、応募受付開始から2-3週間程度で定員に達するため参加希望の方は早めの手続きをお勧めします。
* 当セミナーを通じて、各地の先生方との交流を深めていただきたいと考えており、**原則として1施設3名まで**のご応募でお願いします。4名以上ご希望の場合はこちらから連絡いたしますので、先生方で話し合って参加者3名を決めていただくことになります。
* 受講料は10,000円、当日現地で現金でのお支払いをお願いします。
* キャンセルの場合は、他の希望者に参加していただきたいと思いますので、早めの連絡をお願いします。
* 申込用紙は最初の2枚だけでかまいません。

選択実習について

選択実習1日目

1. 神経画像：様々な神経筋疾患の画像を供覧し、画像診断上の重要な点について学びます。
2. 臨床研究：臨床研究に興味があるけれども、どのように手を付けたらよいかわからない先生が対象です。臨床研究のテーマの設定から研究計画作成までについて学びます。
3. パーキンソン病診療手技：MDS-UPDRSを基に、パーキンソン病患者の診察時に着目すべき点と評価方法について学びます。
4. Device aided therapy; DBSとLCIG(デュオドーパ🄬)：深部脳刺激療法（DBS）やレボドパ／カルビドパ水和物配合経腸用液（デュオドーパ🄬）の適応の有無の判断、調整の方法について学びます。
5. てんかん・脳波：実際の脳波を提示しながら、脳波判読について学びます。実例の解釈・診断が中心となるので、脳波に関する知識が全くないと理解できないと思われます。自信のない方は、簡単な医学書で事前予習をお願いします。お勧めは「飛松　省三. 脳波判読ナビ. 南山堂，東京，2016」

選択実習2日目

1. 初学者のための嚥下機能検査：嚥下機能評価の方法について概説します。嚥下造影検査の実施方法とその評価方法について学びます。
2. ボツリヌス毒素治療のコツ：患者へのボトックス注射を見学しながら、どのような症状に対し、どこへどれだけ投与すればよいか、具体的な使用法について学びます。
3. 神経筋疾患における人工呼吸器療法：救急現場の人工呼吸器管理は異なる、神経筋疾患患者で長期にわたる人工呼吸器管理について説明します。実際に人工呼吸器のデモ機を用いて、参加者に装着してもらいながら人工呼吸器設定について学びます。
4. 腰曲がりの評価と治療：パーキンソン病に伴う腰曲がり（camptocormia, Pisa syndrome）は臨床現場でしばしば遭遇しますが、治療に難渋します。腰曲がりの分類から評価、治療法（リドカインを用いたmuscle afferent block）まで学びます。
5. てんかん・脳波：2017年度に希望者が多かったため2回実施します。1日目と内容は同じ。1日目と2日目の両方を選択することはできません。

電気生理実習

上級者：実際の患者に検査を行いつつ、針筋電図検査結果の手技や解釈について学びます。

中級者：一般的な神経伝導検査については知識・経験がある先生方が対象です。反復刺激試験やblink reflexなどについて学びます。

初学者：初歩的な神経伝導検査の手技、波形を綺麗に出すためのコツ、トラブルシューティングなどについて学びます。

申し込み・問い合わせ・キャンセルの連絡等

国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科　向井洋平　[ymukai@ncnp.go.jp](mailto:ymukai@ncnp.go.jp)　まで

CCで森裕子部長秘書　[moriyuko@ncnp.go.jp](mailto:moriyuko@ncnp.go.jp)　にもメールを送ってください。